

第8回賃貸甲子園を開催

RIAコアブレインズ 28社225人が参加



▲総合MVPを受賞した松岡氏（左）と西井氏

不動産会社向けのセミナーや研修事業を手がけるRIAコア・ブレインズ（東京都中央区）とグループ会社のリアルタイムズ（愛知県名古屋市長市）は4月25日、「第一ホテル東京」で「第8回賃貸甲子園」の表彰式を行った。

賃貸甲子園は、1月から3月までの賃貸仲介契約件数や売り上げを競うイベントだ。全国の不動産会社の営業社員が参加する。不動産会社の仲介業務において、社員のモチベーションの向上や、営業ノウハウを共有することを目的に2016年から開始した。8回目となる23年度は28社、95店舗が参加。参加人数は225人で、22年より60人増えた。参加者の契約件数の合計は1万1565件となった。

居住用物件が対象の「一般の部」と、法人契約や学生向け物件が対象の「法人学生の部」に分かれ、それぞれの部門で契約件数や売り上げを集計した。その中で、契約件数と売り上げを総合して評価する「総合MVP」を各部門で1人ずつ選出。一般の部ではコスギ不動産リーシング（熊本市）本店の松岡隆紀氏が、法人学生の部では、のうか不動産（石川県金沢市）の西井裕人氏が受賞した。松岡氏は「指導してくれた先輩社員への恩返しとなるような結果が出せた」と話し、西井氏は「周りのスタッフに支えてもらい、受賞することができた。次回もいい成績が残せるよう努力していきたい」とコメントした。

受賞者には副賞として、15万円と協賛した住宅新報（東京都港区）が発行する不動産業界向けの専門紙「住宅新報」の1年間の無料購読権が贈られた。